

研究集会報告

平成 30 年度日本教育大学協会研究集会報告

平成 30 年度研究集会実行委員長
奈良教育大学理事・副学長 宮下俊也

開催日 平成 30 年 10 月 13 日（土）
主管大学 奈良教育大学
会場 奈良教育大学（大学講堂・講義棟）

平成 30 年度日本教育大学協会研究集会は、奈良教育大学が当番大学となり、10 月 13 日に奈良教育大学を会場として開催されました。全国から大学教員、附属学校教員、大学院生、学生など 287 名が参加し、発表会場は活気にあふれ、有意義な会となりました。

当日の概要とスケジュールを以下にお示しし、本研究集会の報告とさせていただきます。

I 全体会 (9:30~12:00)

1 開会挨拶

出口利定日本教育大学協会長、加藤久雄奈良教育大学長、宮下俊也実行委員長、来年度当番大学の高瀬淳岡山大学教育学部副学部長より挨拶があった。

2 招待講演

池原充洋文部科学省文部科学戦略官より、『持続可能な社会の創り手』を育成できる教員の養成」と題して講演をいただいた。新学習指導要領の前文に、一人一人の児童生徒が「持続可能な社会の創り手となることができるようにする」と示されたことを受け、今後の新人、また現職教育においてはこの趣旨が正しく理解され、実践されていかなければならない。池原氏からは、ESD（持続可能な開発のための教育）、また SDGs（持続可能な開発目標）についての概念、及び日本や世界における動向、具体的な取組事例等が紹介され、教員養成・教員研修を担う教育大学関係者にとって意義ある示唆を得ることができた。

3 パネルディスカッション

『教員養成学』の構築に向けて」をテーマに、西村拓生奈良女子大学教授、富田福代岐阜聖徳学園大学教授、草原和博広島大学大学院教授、赤沢早人奈良教育大学教授をパネリストとし、コーディネーターである宮下俊也奈良教育大学理事・副学長の司会によって行われた。

昨年の「有識者会議報告書」（「教員需要の減少期における教員養成・研修機能の強化に向けて—国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告書—」）において、「新たな学問領域等の発展」として「教員養成大学・学部は、『教員養成学』の研究を組織的に行うことで教育の質を高め、教員という専門職業人の養成に責任を負うべきである」と示された。このことを受け、日本教育大学協会においても教員養成を「学」として捉え、理論的・実践的研究を推進していかなければならないと考え、本テーマを掲げた。

ディスカッションは、あらかじめパネリストに提示した次の 5 つの問いを軸に展開した。「1. 何を追究する学問として位置付くのか」「2. どのような研究領域が考えられるのか」「3. 研究アプ

ローチとしてどのような方法を取ることができるのか」「4. 構築される理論と教員養成の実践とをどう往還させるのか」「5. 教員養成に携わる大学教員の養成にどう寄与できるのか」。

西村氏は、「教員養成学」を追究する前提として、教科内容学と教育方法学と教育規範学の統合が今、「教員養成学」において、あらためて志向されるべきと提言された。富田氏は、海外の動向としてイギリスの教育改革・教員養成改革について報告され、『教員養成学』とは、教員養成における教育と研究の総体を不断に検証することを通して、その教員養成活動の質的改善に資することを目的とした学問である」と主張された。草原氏は、オランダやノルウェーの取組を例に、教員養成学の前に私たちが行うべきこととして「教師教育者としての専門性の確立」が必要であると主張された。赤沢氏は、奈良教育大学で教育課程開発を担当する学長補佐の立場から、新免許状対応の融合科目の新設、同大学における教員養成改革の取組等を提示し、教員養成教育の「実践」に携わりながら「教員養成学」の構築に向かう意義を提案された。

各発表の後、フロアから貴重な質問や意見が出された。今後、このパネルディスカッションを出発点とし、日本教育大学協会での継続研究課題として、上記の「5つの問い」を軸に議論・追究が積み重ねられていくことを期待したい。

II 分科会 (13:00~17:40)

「学部段階での教員養成」「大学院段階での教員養成」「大学・学部と附属学校園の連携・協働」「教育委員会との連携・協働による現職教員の教育・研修」及び「自由課題」による5つの分科会が実施された。

発表件数は55件で、各会場ともに充実した研究発表と質疑・応答が行われた。

III ポスターセッション (12:00~15:40)

様々なテーマによる全19件の発表があった。発表者の在席責任時間を分科会発表の休憩時間に位置付けたため、参加者全員がポスターセッションの発表を聞き、発表者と交流をもつことができた。

IV 情報交換会 (18:30~20:00)

情報交換会は、ホテル日航奈良に場所を移し、岩井宏奈良教育大学総務担当理事・事務局長の司会により行われた。加藤学長の開会挨拶、出口会長のご乾杯のご発声の後、途中に奈良教育大学事務職員によるフルート演奏を交え、楽しく有意義な語らいの場となった。最後には、次期開催大学の岡山大学高瀬教育学部副学部長よりご挨拶があった。参加者は計77名であった。

秋深まりつつある古都奈良での本研究集会、全国から多くの皆様にご参加いただくことができました。開催大学である奈良教育大学、及び研究集会実行委員一同、心より御礼申し上げます。また、会の準備、当日の運営等につきましては、スタッフ一同万全を期して臨みましたが、至らぬ点多々あったのではないかと思います。それでも無事終了いたしましたのは、ご参加いただいた皆様のご協力によるものと思っております。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

次年度の岡山大学、またそれ以後も本研究集会、及び日本教育大学協会がますます発展していくことをご期待申し上げます。ありがとうございました。

平成30年度 日本教育大学協会研究集会 スケジュール

(当番大学 奈良教育大学)

【日時】 平成30年10月13日(土) 研究集会 9:30~17:40
 情報交換会 18:30~20:00

【開催場所】 「奈良教育大学 大学講堂 他」 (研究集会)
 〒630-8528 奈良県奈良市高畑町 TEL 0742-27-9105
<http://www.nara-edu.ac.jp/>

「ホテル日航奈良」 (情報交換会)
 〒630-8122 奈良県奈良市三条本町8-1 TEL 0742-35-8831
<http://www.nikkonara.jp/>

【開催概要】

I 全体スケジュール

9:00 9:30 12:00 13:00 14:40 15:40 17:40 18:30 20:00

受付	全体会	昼食 休憩	分科会 (5分科会)	休憩	分科会 (5分科会)	移動	情報交換会
		ポスターセッション		※1			

※1 ポスター発表者の在席責任時間は、14:40~15:40 とします。

II 全体会 (招待講演・パネルディスカッション) [9:30~12:00]

1. 開会挨拶 (9:30~9:50)

- (1) 日本教育大学協会 出口 利定 会長 (東京学芸大学長) 挨拶
- (2) 日本教育大学協会研究集会 当番大学 加藤 久雄 奈良教育大学長 挨拶
- (3) 日本教育大学協会研究集会 実行委員長 宮下 俊也 奈良教育大学理事・副学長 挨拶
- (4) 日本教育大学協会研究集会 平成31年度当番大学代表
 高瀬 淳 岡山大学教育学部 副学部長 挨拶

2. 招待講演 (9:50~10:30)

テーマ: 「『持続可能な社会の創り手』を育成できる教員の養成」

講師: 文部科学省 文部科学戦略官 池原 充洋 氏

3. パネルディスカッション (10:30~12:00)

テーマ: 「『教員養成学』の構築に向けて」

- 登壇者:
- 西村 拓生 (奈良女子大学 教授)
 - 富田 福代 (岐阜聖徳学園大学 教授)
 - 草原 和博 (広島大学大学院 教授)
 - 赤沢 早人 (奈良教育大学 教授)
 - 宮下 俊也 (奈良教育大学 理事(教育)・副学長)

4. 連絡事項 (12:00 終了予定)

III 分科会 (研究発表) (13:00~17:40)

- (1) 第1分科会 「学部段階での教員養成」
- (2) 第2分科会 「大学院段階での教員養成」
- (3) 第3分科会 「大学・学部と附属学校園の連携・協働」
- (4) 第4分科会 「教育委員会との連携・協働による現職教員の教育・研修」
- (5) 第6分科会 「自由課題」

※第5分科会「教員就職率向上への取組」については、ポスターセッションへ移動しました。

IV ポスターセッション (12:00~15:40)

テーマ: 「自由課題」

V 情報交換会 (18:30~20:00)